

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	総合的な学習の時間 新1年生に学校案内をしよう
学年	小学校第5学年
目標	<ul style="list-style-type: none">・ Pepper を使った道案内をするために、計画を立て、その実現に向けて追究する。・ 学んだことや体験したことを自分の将来にどのように生かすことができるか考える。・ 友達と協力して活動したり、新1年生の立場に立ち、話し合った視点に沿ってプログラムを考えたりする。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Robo Blocks
環境	グループに1台～数台のタブレット端末を使用
都道府県	島根県
実施校	美郷町内小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p><u>指導計画 (全8時間)</u></p> <p>第1時 新1年生の立場に立って、Pepperの動かし方を話し合い、整理する。</p> <p>第2～4時 事前の学習を基に Pepper が話す・聞き取る・手を動かす・ディスプレイ表示をする等のプログラミングを行う。</p> <p>第5～7時 Pepper をどのように移動させるか計画し、移動するプログラミンを考え実行する。</p> <p>第8時 一日入学で新1年生に学校を案内する。</p> <p><u>第6時の学習展開</u></p> <ol style="list-style-type: none">1 めあてを確認する。 「計画ボードに合う動きになるように、移動のプログラムを考えよう」2 グループでプログラミングをする。<ul style="list-style-type: none">・ 計画ボードを見ながらプログラムを入力していく。・ 体育館の床に印を付け、校舎内の教室や廊下を再現し、Pepperの動きを確認できるようにした。3 中間発表を行う。 ・ Pepperの動きとプログラムを確認できるように、電子黒板にプログラムを拡大表示した。4 振り返りを行う。 <p>→「新1年生に学校を案内する」という目的が明確であったため、児童は主体的にプログラムを考えていた。プログラムを作成するうえでは、事前に作成した計画ボードが有効であった。</p>
成果と課題	グループに1台のタブレット端末を用意したことで、活発に話し合いながらプログラムの作成・修正を行う姿が見られた。Pepperを使わなくても友達に動いてもらうなど、短い時間でも繰り返し、試すことができる方法を考えておかなければならなかった。